

”総選挙～貴方の選挙区の候補は愛国？売国？”

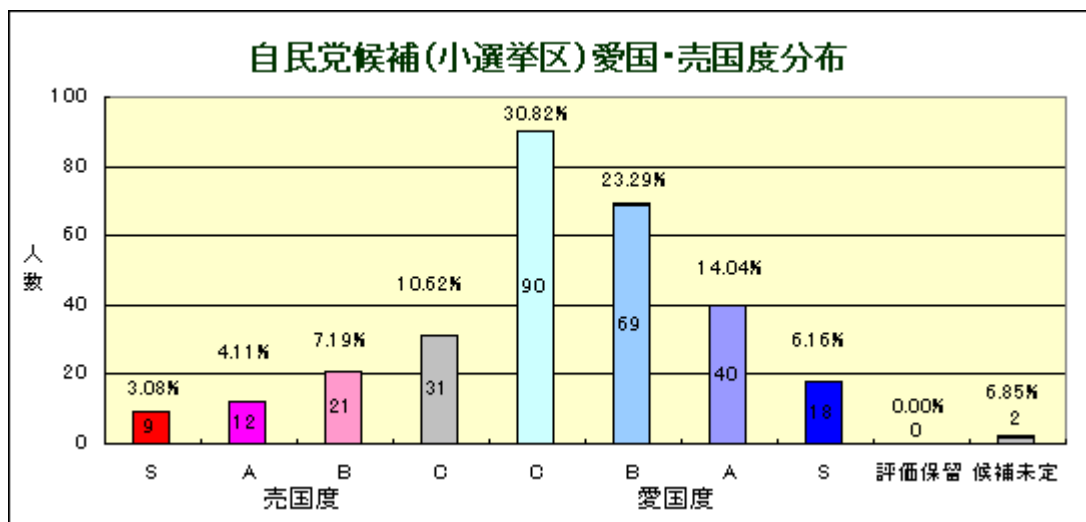
詳

細はここをCLICK!

・自民党（公認予定候補者）（計 292 小選挙区）

1. 自民党	売国度				愛国度				評価保留	候補未決	合計	候補を立てない選挙区		
	S	A	B	C	C	B	A	S				-	-	-
北海道				1	4	3	2	2			12			
東北	1			3	9	9	3				25			
北関東	1		3	4	6	9	8			1	32			
東京			1	1	5	5	8	4			24	1	東京12区	
南関東	2		1	4	11	8	5	2			33	1	神奈川6区	
北陸信越		1		1	8	6	3	1			20			
東海		2	7	4	10	7	1	2			33			
近畿	2	2	3	5	11	13	4	2			42	6	大阪3・5・6・16区、兵庫2・8区	
中国	3	2	3		6	4		1		1	20			
四国		2	1	4	5	1					13			
九州		3	2	4	15	4	6	4			38			
小選挙区計	9	12	21	31	90	69	40	18	0	2	292	8	公明党候補が立候補する選挙区	
S+A+B+C合算	売国候補		73 (25.0%)		愛国候補				217 (74.32%)		0	2	292	

森岡正宏(奈良1区、郵政選挙で落選、自民党に公認申請中)及び、公認調整中の現職候補(森山真弓・萩山教巖・武田良太など)を含みます



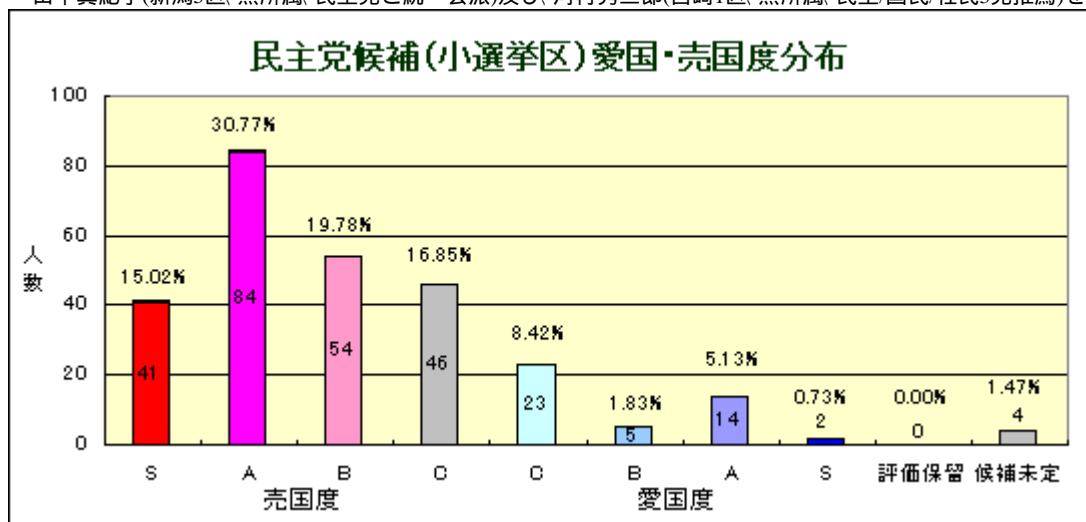
ポイント

1. 最頻値が愛国度:C、次が愛国度:B、つまり実態としては、正規分布とは言わないが、愛国度:B寄りのCを綺麗に裾を引いた山形の分布となっている。
2. 但し、愛国度:Cというのは「党議拘束に従う」程度のノンポリ候補で、本当に確りした愛国的政治家は愛国度:A-Sの58人と見ておいた方が無難。
3. その一方で確信犯的な売国候補、つまり売国度:A-Sに分類される者も21人おり、その多数が有力議員留意が必要。(詳細は「売国議員リスト」参照)

・民主党（公認予定候補者）（計 273 小選挙区）

2. 民主党	売国度				愛国度				評価 保留	候補 未決	合計	候補を立てない選挙区
	S	A	B	C	C	B	A	S				
北海道	4	6	1					1			12	
東北	3	4	7	4	3			1			22	3 秋田2区、宮城6区、山形3区
北関東	4	4	7	6	3	1	4				29	3 栃木3区、群馬5区、埼玉11区
東京	7	6	2	3	2			1	1		22	3 東京8・11・25区
南関東	3	9	7	8	4	1	1				33	1 神奈川8区
北陸信越	5	4	4	1	1	1	2		1		19	1 富山2区
東海	5	9	8	6	1		4				33	
近畿	4	18	9	6	6			1	1		45	3 大阪10・13区、兵庫9区
中国	1	11	1	2	1	1			1		18	2 広島6区、島根2区
四国	2	5		4							11	2 香川3区、愛媛2区
九州	3	8	8	6	2	1	1				19	9 福岡11区、佐賀3区、大分2区、熊本4・5区、宮崎3区、鹿児島3区、沖縄1・2区
小選挙区計	41	84	54	46	23	5	14	2	0	4	273	27 社民党候補を推薦15、国民新党候補を推薦8、
S+A+B+C 合算	売国候補		225 (82.42%)		愛国候補		44 (16.12%)		0	4	273	新党日本候補を推薦1、無所属候補を側面支援3

田中真紀子(新潟5区、無所属、民主党と統一会派)及び、河村秀三郎(宮崎1区、無所属、民主/国民/社民3党推薦)を含みます

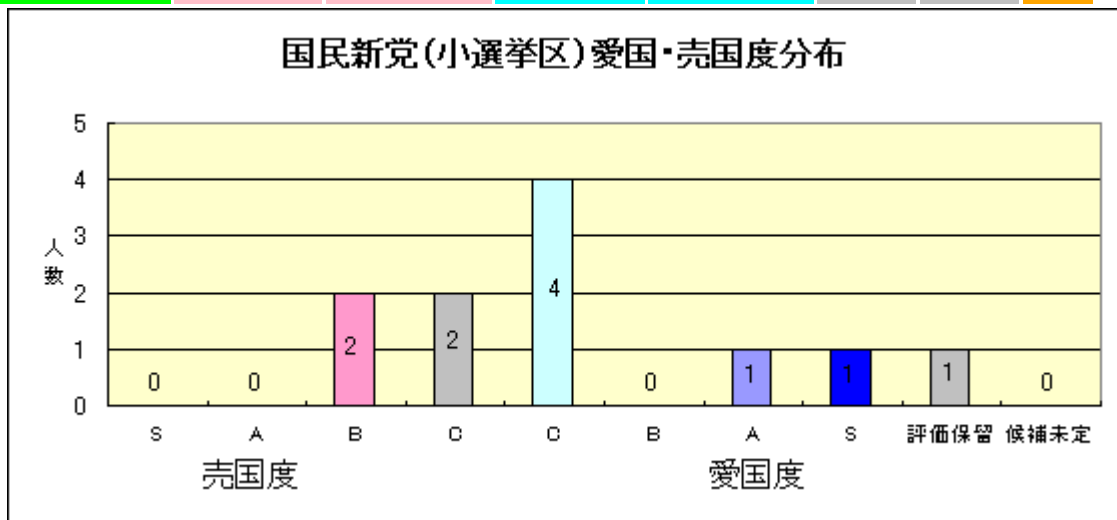


ポイント

1. 最頻値が売国度:A、次が売国度:Bとなっており、左側(売国側)に大きく傾いた極めて歪(いびつ)な分布
2. 売国度:Sの度数だけでも全体の15%(売国度:S-Aで全体の45%)を占めており、確信犯的な売国的政治現職・元職・新人を問わずに多いことが分かる。
3. その一方で、右側の愛国度:Aにも小さな山が出来ていおり、愛国度:Sと併せて全体の僅か6%弱だが、な愛国派が存在することが伺える。
(但しこの割合の少なさでは党内の政策決定に主張が通るはずもなく、「保守票狙いの客寄せ」「いす長転出が関の山」と見られても仕方がない)

・国民新党（公認予定候補者）（計 11 小選挙区）

3. 国民新党	売国度				愛国度				評価 保留	候補 未決	合計	うち民主党推 薦候補	
	S	A	B	C	C	B	A	S				-	-
東京				1							1	1	
南関東				1							1		
近畿			1	1							2	2	
中国		1		1		1					3	2	
九州		1	1					1	1		4	3	
小選挙区計	0	0	2	2	4	0	1	1	1	0	11	8	
S+A+B+C合 算	売国候補		4 (36.36 %)		愛国候補			6 (54.55 %)		1	0	11	



ポイント

1. 「郵政改革に反対」から来る保守的イメージとは裏腹に、実際の愛国議員の割合は5割強で、自民党
2. 但し、売国度:S-Aの極端な売国候補が一人もないことは評価してよく、愛国度:S-Aの候補も各々
3. 難点を付け加えれば、党首の綿貫民輔(比例単独出馬)がなぜか「外国人参政権賛成」であること。ど支持という人はここをきちんと問い質して欲しい。

・社民党（公認予定候補者）（計 31 小選挙区）

全員が売国度:論外

4. 社民党	売国度	合計	うち民主党推 薦候補
	論外	-	-
北海道	1	1	
東北	6	6	3
北関東	2	2	1
東京	1	1	1
南関東	2	2	
北陸信越	5	5	1
東海	1	1	
近畿	3	3	1
中国	1	1	
四国	2	2	2
九州	7	7	6
小選挙区計	31	31	15
S+A+B+C合 算	売国候補	31 (100.0%)	31

ポイント

1. 特になし。
2. しかしNHKは、なぜ頻繁に福島瑞穂の映像を流すのか。政治に疎い人は、そのの所をもっと考えよう。

・公明党（公認予定候補者）（計 8 小選挙区） 全員が売国度:論外

5. 公明党	売国度		合計		
	論外		-	-	-
東京	1		1		
南関東	1		1		
近畿	6		6		
小選挙区計	8		8		
S+A+B+C合算	売国候補	8 (100.0%)	8		

ポイント

1. 特になし。今やほぼ常識となっはいるが、公明党 = 創価学会であることを忘れてはいけない。
2. 即ち、議員全員が創価学会信者であり、愛国心や日本精神、大和魂の欠片も持ち合わせていない非国民
3. 神奈川6区(元NHK・元社会党議員の池田元久(民主党現職)と公明党)、大阪5区(典型的サヨク活動家の元職)と公明党)は全国屈指の売国奴対決として注目

・共産党（公認予定候補者）（計 149 小選挙区） 全員が売国度:A

6. 共産党	売国度		合計		
	A		-	-	-
北海道	5		5		
東北	10		10		
北関東	9		9		
東京	25		25		
南関東	19		19		
北陸信越	10		10		
東海	8		8		
近畿	38		38		
中国	7		7		
四国	6		6		
九州	12		12		
小選挙区計	149		149		
S+A+B+C合算	売国候補	149 (100.0%)	149		

ポイント

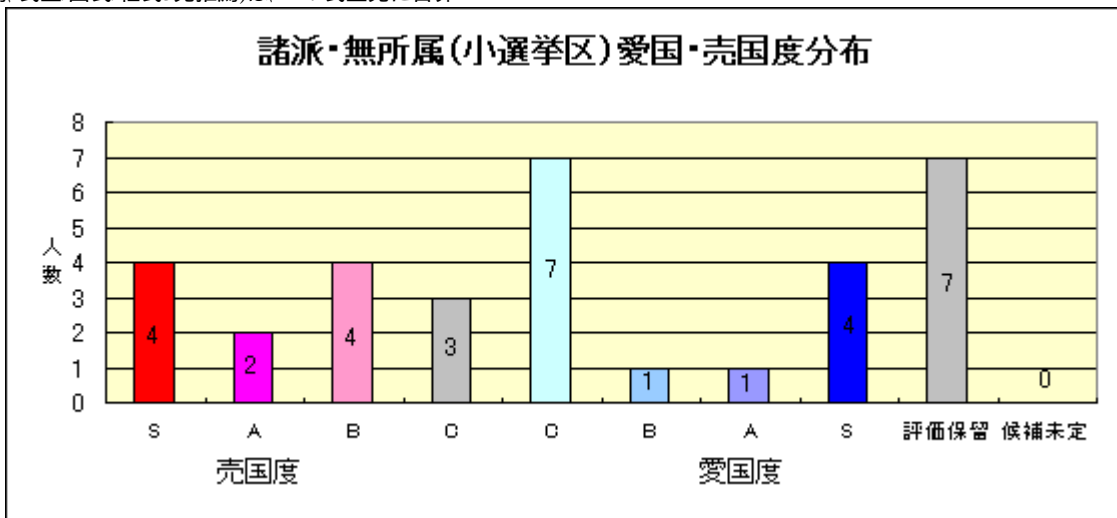
1. 特になし。共産党も反日売国政党だが、公明党と敵対しており、自民/民主/社民のパチンコ・サラ金利など一定の有益性もあるため、売国度:SではなくAと評価する。
2. 共産党は、これまでずっと、全国300小選挙区にくまなく候補を立ててきたが、今回は本当に半減して「革命のための高等戦術」なのだろうか。

・諸派・無所属（有力候補）（計 33 小選挙区）

7. 諸派・無所属	売国度				愛国度			評価保留	候補未決	合計	赤字は 民主党推薦候補または側面支援候補 青字は 愛国度:Sの候補
	S	A	B	C	C	B	A				
北海道								2		2	杉村太蔵(現)、佐藤健治

東北		1		2				1		4	升田世喜男、藤井陽光、佐々木重人、村岡敏英		
北関東		1	1		1	1				4	2 中村喜四郎(現)、渡辺喜美(現)、植竹哲也、小泉龍司		
東京	1			2		1				4	1 宇佐美登、小林興起、有田芳生(新党日本)、中津川博郷		
南関東		1						1		2	1 江田憲司(現)、井上義行		
北陸信越									1	1	柴田巧		
東海								1		1	城内実		
近畿	2			1	1			1	1	6	田中英夫、堺井裕貴、左藤章、西村真悟(現、改革777)、原和美(新社会党・9条社)、石原修三		
中国			1					1		2	熊代昭彦、平沼赳夫(現)		
四国	1		1		1				1	4	岡佑樹、真鍋健、桜内文城、橋本大二郎		
九州				1				1	1	3	相浦喜代子、三浦一水、小渡享		
小選挙区計	4	2	4	3	7	1	1	4	7	0	33	4	
S+A+B+C合算	売国候補		13 (39.39%)		愛国候補			13 (39.39%)		7	0	33	

森岡正宏(奈良1区、自民に公認申請中)は、自民党に合算、田中真紀子(新潟5区、無所属、民主党と統一会派)・河村秀三郎(宮崎1区、無所属、民主/国民/社民3党推薦)は、民主党に合算



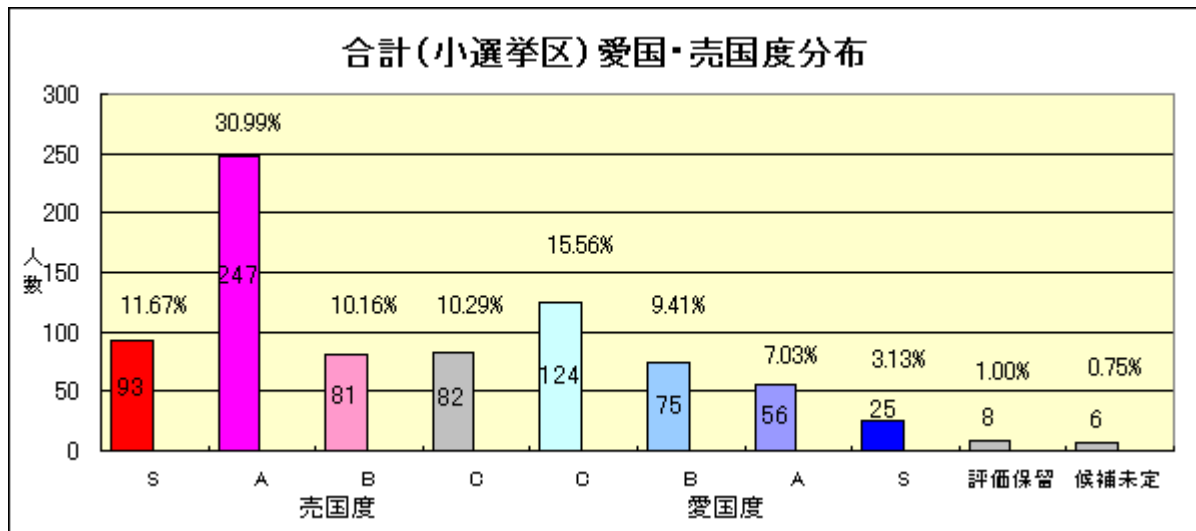
ポイント

1. 愛国・売国両側に綺麗に候補がバラけた。諸派・無所属で出る有力候補は個性の強い人が多いという(売国度:S、愛国度:Sが同数いる)
2. その一方で、地方議員から転出を狙う候補は、総じて政治姿勢が曖昧で、特に民主党などからの推薦が「評価保留」とするより仕方ないケースが目立つ。

～ . 合計(次期総選挙で出馬予定の有力候補者) (計 300 小選挙区)

1. ~ 7. 合計	売国度				愛国度				評価保留	候補未決	合計	共産党候補を除く合計		
	S	A	B	C	C	B	A	S						
候補者計	93	247	81	82	124	75	56	25	8	6	797	648		
S+A+B+C合算	売国候補		503 (63.11%)		愛国候補			280 (35.13%)		8	6	797		

この他に、それほど有力ではない諸派・無所属候補が多数出馬予定です。



【関連】 [愛国・売国分析の結論 総選挙](#) [愛国・売国議員候補リスト](#) [自民党と民主党の違い](#)
[民主党の正体](#) [自民党の真実](#) [参議院愛国・売国度分析](#)